

この教材の使い方

通訳案内士試験二次口述は、平成25年度から新形式が導入されました。その内容は、「逐次通訳」と「即興プレゼンテーション+Q&A」という2つの課題をこなすという、客観的な技術を試すものです。この教材は、そのうち「逐次通訳」の対策をします。

1. まず、『通訳入門』を読んで、通訳の理論面を理解してください。ただ、通訳理論は実践を通じて初めて理解できる部分もあるので、完全に理解できなくても、あまり気にせず、一読後は演習に進んでください。
2. 演習は、DVD 動画で行います。準備すべき物は、DVD 再生機の他に、通訳メモを取るための紙と筆記用具です。この際に大切なことは、「具体的各問題の予習をしてはいけない」ということです。なぜなら、通訳においては「音声で聞いた情報をリテンションする（記憶する）」という部分が最大のネックであり、事前に出題内容を読んでしまうと、その部分が不当に「ラクに」なってしまって、本来の「通訳」が体験できなくなるからです。テキスト『過去問詳解』を参照するのは、DVD 演習が終わった後にしましょう。
3. 演習が終わったら、別売の『通訳案内士試験二次口述過去問詳解』を見て、原文や訳文を確認するとよいでしょう。

フローチャート



なお、通訳の方法論につき理解を深めたい方は、『逐次通訳七番勝負!』のフルバージョンテキストをご覧ください。

